

2020年度の事業報告書  
2020年4月1日から 2021年3月31日まで

特定非営利活動法人フォーラムひこばえ

2020年度は、当初よりコロナ感染拡大防止対策という大きなテーマに直面することになった。コロナ禍での事業運営は、事業活動をこのまま継続してよいのかという決断を迫られることが少なからずあり、そのたびに何を目的に日々の業務を行っているかということに、再度向き合う機会となった。法人の業務はどれも、日々生じてくる生活問題への対応と改善、予防のために行っていることであり、感染防止対策に努めながらも、常にその原点に立ち返り、可能なかたちでの実践を行った。また職員に対しては、社会的使命を担うエッセンシャルワーカーとして尊重し、危険を最小限にとどめるためにできることについて、法人内で協議し対応した。また職員自身も社会人として、また社会的責任を担う人材として、健康安全に最大限留意し、節度ある暮らしやした自粛生活を行い、現在のところ危機に対応することができている。コロナ禍での事業運営についてはまだ気を抜くことはできないが、利用者、職員の健康と安全を第一に考え、感染拡大防止に努めていきたいと考えている。

また、2020年度は建物を新しく建てようとする運動を通して、職員や利用者が一丸となって法人の方向性を確認していくきっかけができた年でもあった。特に2019年度末から取り組んでいる任意団体の「ひこばえ建設委員会『ひこば YELL』」においては、学童保護者や保護者OB、また各事業の利用者家族と職員とが一堂に会して、資金あつめの一環として物販活動やバザー、朗読会などの催しを行った。クラウドファンディングや寄付集めの活動も研究し、2021年度の着工を目指し活動を広げていく予定である。この活動において、職員同士、また利用者を含めた横のつながりが強化され、ひこばえならではの協働の運動が実施されている。寄付呼びかけパンフレットも作成され、今年度は今までになく多くの方からの寄付をいただく結果となった。これからも利用者、職員が立場の違いを超えて共に歩む、息の長い活動としていきたいと考えている。

## 1. 法人運営

- 法人協議決定機関

役員会 6回開催 施設長会議 12回開催

- 委員会活動

☆広報会議 毎月1回会議を行い広報全般にわたり協議し、改善した。

・ 児童館ニュース記事内容計画・発行毎月 12回発行

・ ホームページ更新（毎月・随時）

・ ひこばえニュース記事内容計画・発行（年2回） 2回発行  
（8月・2月）

・ 法人パンフ作成計画（完成は2021年4月）

☆防災環境会議 1）非常災害時の備え 2）施設及び環境の整備 を目的に活動、基本

的に月1回会議を行った。次年度からは感染症の対策も視野に入れた活動を行う。

### 2020年度の取り組み

種 類月	防災対策	施設・環境整備
7月	○16日(木)防災訓練(火災想定) ※事業所により日程違いあり	○13日(月)育成室 斜面草刈り ○救急救命講習実施見送り
8月	○小テント(2つ)購入	
9月		
10月	○26日(月)防災訓練(火災想定) ○児童館タブレット購入(非常時の出欠確認等で使用)	○育成室斜面草刈り(小倉造園へ依頼)
11月		○17日(火)大型ごみ処分(業者依頼) ○駐車場歩行者用案内板(ラミネート)作り直し
12月	○18日ふう避難経路確認	○15日(火)感染症予防研修
1月		○15日(金)クレーム対応振り返り 害獣対策超音波装置2台購入
2月		○感染症対策衛生用品再整備
3月	○消防計画変更提出	

### ☆研修会議の開催

コロナ感染防止対策研修を行った。

障がい関係の事業所合同で、虐待防止研修を行った

次年度から研修委員会を定期的で開催し、人材育成を体系的に行えるよう仕組みづくりを行っていく。

#### ● 法人の行動理念作成

法人の行動理念についてリーダー会議にて協議し、作成した。行動理念についての振り返りにつ

いては、各事業所の協議にゆだねている。

リーダー会議での行動規範検討

5/18 6/15 7/20 8/31 10/5 11/19 12/21 (2021年) 1/18 2/15 3/15

職員会議での検討 10/30 2/16

#### ● 地域会議の開催

ひこばえ事業、児童館事業の担当で地域会議を開催し、実践の中からソーシャルワークについ

て協議した。サークル活動のしおりや活動規定を作成した。

- 建物新築工事に向けてワークショップを開催し、建物建設に対する職員の主体を促した  
またひこば YELL の活動を通して、職員、利用者が一体となった活動に取り組むことができた。

## 2. 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
<p>地域住民への生活支援を通し、地域住民の相互関係や地域福祉に対する関心を高める取り組みを行う事業</p> <p>地域住民の集う場所を提供し、地域住民の相互関係や地域福祉に対する関心を高める取り組みを行う事業</p> <p>地域福祉向上のため調査、研究、提言を行う事業</p>	<p>会食会 サロン活動 地域の仲間作りを目的としたサークル活動</p> <p>ひこばえさんかんばん マルシ YELL 秋の夜長の朗読会「宮沢賢治」 ひこばえ建築委員会ひこば YELL 共催</p>	<p>毎週金曜日 月～土随時</p> <p>場所 フォーラム ひこばえ 従事者 2人 (兼務)</p> <p>年 1 回 年 3 回</p>	どなたでも	30,834 千円
<p>児童福祉法に基づく児童厚生施設の設置運営 (うたの・ひこばえ児童館事業)</p>	<p>京都市児童館指針に基づく事業展開</p>	<p>学童保育 月～土 放課後～18時半 学休期間は8時～18時半 場所 うたの・ひこばえ児童館 従事者 6人</p> <p>児童館事業 0～18歳までの児童とその保護者が集い、学び、つながれる場</p>	0歳～18歳の児童及び保護者	43,456 千円

<p>児童福祉法に基づく障害児通所支援事業（放課後くらぶひこばえ・放課後くらぶひこばえふう事業）</p>	<p>児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 放課後等デイサービス事業</p>	<p>月～金 13時半～17時半 土曜 10時半～17時半 場所 フォーラム ひこばえ 従業者 8人</p>	<p>小学校1年生～18歳までで受給者証の発行された方</p>	<p>43,456 千円</p>
<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業（就労支援事業所ひこばえ・ひこばえme事業）</p>	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく就労継続支援B型事業及び生活介護</p>	<p>月～金 9時半～16時 場所 エバーコーヒー他 従業者 3人  生活介護 従事者 6人</p>	<p>18歳以上で、受給者証が発行され利用を認められた方</p>	<p>28,926 千円</p>